

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年8月16日(2007.8.16)

【公開番号】特開2002-108691(P2002-108691A)

【公開日】平成14年4月12日(2002.4.12)

【出願番号】特願2000-299012(P2000-299012)

【国際特許分類】

G 0 6 F	12/00	(2006.01)
G 0 9 C	1/00	(2006.01)
G 1 1 C	11/407	(2006.01)
G 1 1 C	11/401	(2006.01)

【F I】

G 0 6 F	12/00	5 6 0 F
G 0 9 C	1/00	6 1 0 A
G 0 9 C	1/00	6 2 0 A
G 1 1 C	11/34	3 6 2 S
G 1 1 C	11/34	3 7 1 K

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月29日(2007.6.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

図6を参照して64Mbitのアドレス空間0h~3FFFhのうちアドレス0h~1Fhはロジック回路18に対する制御コマンドやデータを書込むロジック制御領域であり、アドレス20h~2Fhは、ロジック回路20に対するコマンドやデータを書込むロジック制御領域である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0066

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0066】

図7の制御レジスタ78はX=3FFFh, Y=00hに割当てられる。モードレジスタ80は、X=3FFFh, Y=01hに割当てられる。ステータスレジスタ82は、アドレスX=3FFFh, Y=02hに割当てられる。第1のデータレジスタ84は、アドレスX=3FFFh, Y=03hに割当てられ、第2のデータレジスタ86は、アドレスX=3FFFh, Y=04hに割当てられる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0122

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0122】

図26は、実施の形態5の変形例の動作を説明するための動作波形図である。

この場合には、時刻t1までは、制御信号ADD_LはLレベルであり、通常のDRA

Mアクセスがなされるが、ADD_LがHレベルになると、ロジック回路に対するコマンド制御モードに入る。このとき、/WE_LがLレベルの場合には、ライトモードが指定されて/WE_LがHレベルの場合にはリードモードが指定される。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0166

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0166】

また、S c R A Mは、特定のアドレス空間をアクセスすることで、暗号ロジック部分を制御しているので、汎用S D R A Mとピン互換を実現することができる。また、暗号機能をディスエーブルにすれば、S D R A Mとしての機能のみを使用することもできる。